

1 まちづくり政策（市立病院関係分）

政策  
3  
福祉・保健・医療

政策展開の方向性

全ての市民が、いつまでも元気に過ごせるよう、健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう、地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。  
また、誰もが安心して生活できるよう、保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。  
さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活を送れるよう、サービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を育成し、確保することで、みんなで支え合う地域づくりを推進します。

令和6年度の取組状況報告

3-（2）健康づくりの推進と地域医療の安定

・令和6年度は、「江別市立病院経営強化プラン」の初年度として、「地域の医療をつなぎ、地域に密着した医療を提供し、地域の発展に貢献する病院」を実現するために、職員全員の力を結集し、医療の質と経営の質の双方を高める取組を進めました。  
・紹介患者受入れ促進や救急応需の取組を継続するとともに、患者様の意向に沿った入退院調整や産後ケア、レスパイト入院などによる病床利用を促進し、病床利用率の向上に取り組みました。また、DPC対象病院として急性期医療の充実やベッドコントロールなどの取り組みを継続的に行い、収益の最大化に努めました。  
・外来機能の高度化、専門化を進めるため、放射線科での紹介検査実施といった新たな仕組みづくりを進めたほか、令和5年度に導入した地域医療連携システムを活用して、市内医療機等との効率的な連携体制の構築を進めました。  
・令和6年4月に健診センターをリニューアルオープンし、各検査の待合スペースや診察待合室を新設するなど快適性の向上やプライバシーの確保に努めました。また、甲状腺エコーや前立腺がんドックなどを新たに開始するなど健診メニューの充実を図っています。  
・基幹的総合病院として持続可能な医療体制の確立を図るため、医師の働き方改革として、出張医の活用による輪番制の安定稼働、チーム医療による多職種へのタスクシフトを進めました。また、医療安全管理委員会を定期的に開催し、事例検討や研修を実施し、医療安全・事故防止に取り組みました。  
・ホームページをとおして、分かりやすさと見やすさを意識した採用情報や診療情報等の発信に努めました。また、病院広報誌、地域医療連携だより、出前講座、健康セミナーなど、多様な媒体を活用して、市民、患者、地域関係機関に対し、当院の診療情報のほか、健康づくりに関する情報等を発信しました。  
・「YESと応えて最高の病院に」等のスローガンを掲げ、それを実践している職員をリレー形式でつなぎ、対象職員を称える取組を実施するなど、「元気になる職場づくり」を進めました。また、患者さまや病院のためにという職員の想いに応えるため、職員のスキルアップに資する、学会発表に関する費用や資格取得費用等の助成を行いました。  
・新興感染症発生時の対応として、北海道との間で、病床の確保や発熱外来の対応といった感染症医療を提供する医療措置協定を結びました。  
・高度のデジタル技術（ICT、AIなど）を活用しながら、患者に寄り添う人材の育成というアナログの姿勢を追求する「高度先進地域医療」の実現に向け、健診や呼吸器・消化器内科の分野で医育大学との共同研究の取組を着実に進めました。  
これらの取組の結果、経営面においては、救急患者の積極的な受入れ等の取組により、入院では患者数が前年度から減少したものの、診療単価が前年度から増額したことにより、収益は前年度に比べ4,915万円、1.5%の増収となりました。外来においては、コロナ禍後の受療動向の変化による影響等を受け患者数が前年度から減少したほか、収益科目の変更（健診センター収益を公衆衛生活動収益、訪問看護収益をその他医業収益へ変更）を実施したことにより、収益は前年度に比べ2億3,131万円、13.3%の減収となりました。  
一方、費用では、給与費が給与改定や出張医報酬の増加等により増加したほか、前年度に実施した建設改良工事や医療器械の更新等により減価償却費が増加し、病院事業費用全体で、前年度に比べ3億9,971万円、5.6%の増額となりました。  
この結果、当年度は前年度より6億6,667万円の収支悪化となり、8億2,654万円の純損失を計上し、前年度繰越欠損金を合わせた当年度未処理欠損金は13億117万円となりました。  
令和6年度は、経営強化プランに基づく経営強化への取組を進めましたが、患者数の減少により診療収益が伸び悩んだ影響や人件費増加等による費用増の影響もあり、2期連続の赤字決算となりました。引き続き、市民に必要な医療を安定的に提供するため、病院事業管理者の下、病院職員一体となって、「経営強化プラン」に基づく経営強化策を着実に進めていきます。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標
健康だと思ふ市民割合	%	78.4	81.7			↑

市立病院が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「経営強化プラン」(R6~R10) 救急搬送患者数	件	1,139	1,502			↑
「経営強化プラン」(R6~R10) 1日当たり入院患者数	人	175	180			↑
「経営強化プラン」(R6~R10) 経常収支比率	%	106.2	89.5			→

## 2 えべつ未来戦略（市立病院関係分）

戦 略	■ 具体的施策 「関連事業」 (担当課)
【戦略1】 子どもが主役のまちをつくる	
【戦略2】 幸せに歳を重ねられる暮らしを とどける	
【戦略3】 みんなの働きがいと、元気な経済を つくる	
【戦略4】 地域から地球温暖化防止に挑む	
【戦略5】 デジタル技術で住みよい明日を 切りひらく	

## 3 市立病院の資源

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
病院事業会計 (千円)	収益的支出	7,496,336				
	資本的支出	1,306,414				
	合計 (A+B)	8,802,750	0	0	0	0
総 額		8,802,750	0	0	0	0